

# ぽぽデイだより NO. 6 1 平成 30 年 1 月号



社会福祉法人 ほっとスマイル

ぽぽデイ名塩駅前 669-1134 西宮市名塩新町 5021-11 TEL 0797-62-0705

ぽぽデイ東山台 669-1133 西宮市東山台 1-1 TEL 0797-62-1165 (1F)

TEL 0797-26-7705 (2F)

先日、駅構内のお蕎麦屋さんに入ったときのこと。少し年配の女性従業員の方お二人がなんだか険悪な雰囲気。一人の方が、「あんた、言い訳したらあかん！」と相手の人に言い、そう言われた従業員の方は私が注文した品を私の目の前に置きながら、私には視線も合わせず、「言い訳ぐらいさせてくれへんと…」と声に出して独り言。憤懣やるかたない様子でした。居酒屋さんの仕事などもそうだと思うのですが、お客さんに、声と表情を整えて、愛想よく、ことばで注文を聞き、それを、やはりことばで、間違いなく、はっきりと調理場に伝え、その後できた注文の品を、再度、声と表情を整えて、愛想よく注文者のところに届ける、この一連の仕事は、「ことば」（注文の理解と伝達）と「動作」（運搬）の二つの組み合わせによって構成されていますが、或る発達検査では人間の発達を測る尺度として「言語性 IQ」と「動作性 IQ」を測定するそうですから、なるほどなと思います。「言語」（コミュニケーション）と「動作」が人間の在り方（仕事、生活）を規定する基本的な要素ということなのでしょう。お蕎麦屋さんのお仕事は、その二つの力を同時に発揮して、しかもその言語と動作の組み合わせをいくつも、同時進行的に処理しないといけない、そこに難しさがあるのだと思います。さて、先日、おやつ作りの子どもたちを見ていますと、きゅうりの輪切りはできて、切る方向を変えて「短冊」に切ったり「拍子木」に切るとなると、途端に手元があやしくなるということがありました。あるいは、ゲームの好きな子はたくさんいますが、ゲームをしているとき、「動作」としてはどの程度の、どのような動きが要求されているのでしょうか。心理的に興奮し、楽しいと感じるのでしょうが、「動作」としてはとても偏っている気がします。私たちは、どちらかと言えば「ことば」を先に考えがちですが、実は「ことば」と「動作」、そのバランスが大切なのではないかと、動作を学ぶ、動作を通して学ぶということも、「勉強」を含め、生きる、生活するという点でとても大切なことではないのか、お蕎麦屋さんのお仕事を通して、そんなことを思ったことでした。



## 新年交流会ご参加ありがとうございました。

前日の雪が残っている寒い日でしたが、約 30 組のご家庭がお集まりくださいました。不十分ではありましたが、日頃のお子さんの様子をビデオで見ていただけたかと思えます。写真は名塩駅前、東山台の入り口に貼っておきますので送迎時、ご覧ください。

## ぽぽママ お茶のひと時

日時：2月19日（月）10:00～

場所：塩瀬公民館3F 第3・4会議室

公民館はお菓子の持ち込みはできません。飲み物をご持参ください。



## ホームページができました

待ちに待ったぽぽデイのホームページが完成しました。皆さんにご協力いただいた事業所評価表も今後載せていく予定です。

## 保護者会

1月16日、朝日新聞の集会所で保護者会がありました。この日の活動はカード作り。コピー機やラミネーターを持ち寄って一人一人のお子さんに合うカードを作成しておられました。必要だと思っけていてもなかなか作れないものですが、みなでおしゃべりしながらあっという間に出来上がって行きました。カード作りは初めての試みでしたが、皆さんとても満足そうでした。次回の保護者会、期待しています。



## きらり (すてきな瞬間を紹介します)

ぼぼデイでは毎月1回スタッフによるスタッフの研修をしています。1月は基本に立ち返って「保育の基礎」について学びました。その中でさくら組で取り組んでいるミュージックケアをお子さんになったつもりで受けてみました。パラバルーンの生地よりも柔らかく、淡いパステルカラーのキュプラでできた大きなフラップバルーンを囲んで、まずはお勉強。次に実際に布をもち、スーパーフライの曲に合わせてみんな(15人!)で揺らしました。中に空気を入れてドームを作ったり、息を合わせて大きなウエーブを作ります。布の上の弾むボールには歓声が上がりました。みんなとても嬉しそう。生き生きとしてお話を聞いているときは表情が違います。お子さんたちにもみんなと息を合わせる経験、みんなと遊ぶのもまあいいなあという経験をしてもらいたいと、つくづく思った楽しい研修でした。



## 新年度を迎える準備をしよう

平成30年4月に進級、新たな進路が決まったと思います。

進級の場合は担任が代わるなどの人間関係の変化が生じます。一方、幼稚園・小学校・中学校・高等部・高校などの新たな進路を選択した人は、環境の変化も加わります。

特に新たな幼稚園に行く人、小学校に入学する人は、生活リズムが変わります。新1年生は、45分単位の授業枠で活動されます。お子さんにとっては、不自由な生活になると思います。入学を迎える前までに起床時間・朝食・排泄などを終えて登校時間を迎えるよう規則正しい生活に心掛けましょう。

いろいろな特性を持ったの新生活に適應するために、担任等と協力し合い、親からも情報提供を行い、共通理解を図ってほしいです。そして、スムーズな新生活ができることを期待しています。(N記)

## スタッフの一言

お昼前になると、散歩に出かけた子どもたちの弾んだ声が遠くから聞こえてきます。そしてインターホンが鳴り、ニコニコ笑顔と「ただいま」の元気な声。楽しく遊んできたことが伝わってきて、こちらも嬉しくなる瞬間です。実は、このちょっとしたやり取りが、私の密かな楽しみです。

ぼぼデイ名塩駅前 小川恵美

粘土遊びをそっと覗いてみましょう。指で押して感触を確かめる姿、かたまりを両手でつまんでちぎる姿、大人の模倣をして転がしたり、道具を使う姿、お皿に並べて食べ物に見立てやり取りする姿。一人ひとりの様々な遊びの姿からたくさんの気づきをもたらしています。 東山台 井野口誠